

## 地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	○
	地域医療、福祉・介護、教育	◎	観光・交流	
	地域コミュニティ・集落再生	○	環境	
	地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		ひらの かくじ		
氏名		平野 寛治		
所属	名称	一社)全国食支援活動協力会/社会福祉法人ふきのとうの会		
	役職	専務理事/理事長		
連絡	住所 (職場)	〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 6-19-21		
	連絡先	e-mail	kakuzi[アットマーク]mow.jp	
		TEL 03-5426-2547	FAX 03-5426-2548	
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴		<p>東京都出身。1991年3月より全国老人給食協力会(現、全国食支援活動協力会)事務局長を務め、2013年6月より現職。</p> <p>「地域は一つの家族」「食を通じた地域の支え合い」を掲げ、住民参加型の助け合い活動の推進に向け、東京都社会福祉協議会・住民参加型助け合いサービス部会運営委員・地域福祉推進委員や、「広がれ、こども食堂の輪！」実行委員会・同推進会議副代表、社会的企業研究会運営委員、「新しい介護食品普及推進会議」・新「地域支援構想会議」構成委員等を歴任する。</p> <p>世田谷区喜多見上部自治会理事、世田谷区立砧小学校学校関係者評価委員長も務める。</p>		
著作・論文等		-		
取組概要		<p>・住民主体で取り組む食支援活動団体の中間支援組織として活動。</p> <p>(1)ネットワーク形成支援(連絡会議の開催、多機関の協働を推進する「食でつながるフェスタ」開催支援)／企業等支援団体とのマッチング(助成制度の運用、寄付物品の斡旋)等</p> <p>(2)啓発・研修:情報発信(運営・教本の作成、研修開催・講師派遣)等</p> <p>(3)相談窓口の設置:助成制度や関連機関の紹介等</p> <p>(4)食を通じた居場所の重層的支援として、全国・地域レベルの中間支援組織の連携</p> <p>・食を通じた居場所づくり支援のための国・行政・企業・団体連携の実績(一部抜粋)</p> <p>1) こども食堂等居場所の普及・ネットワーク形成支援</p> <p>赤い羽根福祉基金助成「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー開催支援およびネットワーク推進事業」</p>		



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>2)こども食堂への食料品などの寄贈に関わる伴走支援</p> <p>食を通じた地域の居場所づくり活動の安定運営を目的に「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」を推進。2022 年度は 53 企業・団体が本仕組みに対して食品の寄贈や資金的支援、仕組み作り支援に参画しており、33 都道府県の連携拠点を通じて全国 2000 団体のこども食堂など居場所へ 355t の寄贈を分配した。</p> <p>3) 助成事業の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キューピーみらいたまご財団「食を通じた居場所づくり支援」助成プログラムB助成運営支援(2017 年～)</li> <li>・令和4・5年度厚生労働省補助事業「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」</li> <li>・「こども食堂サポート機能設置事業」(2019 年度～休眠預金・通常枠の助成対象事業助成)</li> <li>・「食の物流支援ネットワーク整備プロジェクト」(2020 年度～休眠預金・通常枠の助成対象事業助成)</li> <li>・「多世代が食でつながるコミュニティづくり」(2022 年度～休眠預金・通常枠の助成対象事業助成)</li> </ul> <p>4)調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域特性を踏まえた生活支援ニーズへの対応及び地域活動の継続に係る調査研究事業」(令和2年度厚生労働省老健局 老人保健健康増進等事業)</li> <li>・「新型コロナウイルス影響下における生活支援体制整備事業の推進に向けた人材育成に関する調査研究事業」(令和3年度厚生労働省老健局 老人保健健康増進等事業)</li> <li>・「生活支援コーディネーターによる住民主体の『食』関連生活支援サービスの開発支援方策と持続可能な事業実施・展開に関する調査研究事業」(令和4年度厚生労働省老健局 老人保健健康増進等事業)</li> <li>・「見守り体制強化促進のための広報啓発事業」(令和 4 年度厚生労働省)</li> <li>・「見守り体制強化促進のための広報啓発事業」(令和 5 年度こども家庭庁)</li> </ul>
メッセージ	<p>誰もが暮らし続けられる地域づくりを目指し、以下の 2 つに取り組んでいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各地の居場所づくり団体支援に取り組む行政・社協・中間支援組織が水平的・垂直的にリソースを活用するための横断的なネットワーク(プラットフォーム)の構築</li> <li>2. MOWLS(ロジハブ)を通じて、各地の地域課題(中山間地・孤立)の解決に向けて、行政・社協・企業他と協働しながら食糧支援のネットワークを構築</li> </ol> <p>住まい続けられる地域社会の実現に向けともに取り組んでいただける方からのご連絡をお待ち申し上げます。</p>
関連ホームページ	<a href="https://www.mow.jp/">https://www.mow.jp/</a>
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。